

# 地方産業競争力協議会のとりまとめ概要

平成26年5月19日  
甘利経済再生担当大臣提出資料

# 1. 地方産業競争力協議会について

- 9つの地域ブロックごとに、地域経済界、地方自治体等から成る地方産業競争力協議会を開催。
- 約半年にわたり議論を重ね、地方版成長戦略を策定。地域ブロックごとに戦略産業を特定し、広域連携してその振興を図るための取組みをとりまとめ。

## 「地域の成長戦略に関する意見交換会」(4月21日)の概要

(地方側からの声)

### ①地域の主体性、国の伴走支援

—地域が主体的かつ責任ある取組みを行うことができるよう、規制緩和は地域が選択できるようにするとともに、国が伴走型で支援し、戦略の実現を後押し。

### ②グランドデザインの策定

—国として将来のグランドデザインを策定し、地域間格差の是正に取り組むことが必要。

### ③人の不足・人づくりの支援

—地域には人材が不足しており、人づくりに配慮してほしい。

## 【各地域の成長戦略】

### 北海道

- 食関連
  - 6次産業化
  - 輸出拡大
- 観光関連
  - アジアなど国際観光

### 北陸

- 炭素繊維
  - 東海・北陸コンポジットエリア

### 東北

- 地域製品の域外展開
  - 農林水産物、伝統的工芸品等
- ものづくり産業
  - 自動車、医療機器

### 中国

- 先端ものづくり
  - 医療・航空機関連産業
- 農林水産業
  - 高付加価値化・産業化
- 広域観光・インバウンドの推進

### 関東

- 成長産業(ヘルスケア、先端ものづくり等)
  - クラスターの形成
- 地域資源のブランド化
  - 農商工連携等

### 九州

- Earth戦略
  - クリーン(エネルギー・環境・次世代自動車)
  - 農林水産業・食品
  - 観光
  - 医療・ヘルスケア・コスメティック

### 東海

- 世界最強ものづくり
  - 自動車
  - 航空機
  - ヘルスケア
  - 環境

### 四国

- 連携プロジェクト
  - 高機能素材関連産業
  - 観光資源づくり
  - 大都市圏・海外への売り込み
  - 人材育成等

### 近畿

- 革新的新技術の活用推進
  - 革新技術の事業化
- 新ビジネス・新市場創出
  - ライフ、エレクトロニクス、エネルギー、農業等



## 2. 各地の「地方版成長戦略」の概要

地方ブロック	概要
北海道	<ul style="list-style-type: none"><li>・戦略産業は、食と観光産業を特定。医療と食産業の連携も。</li><li>・農林水産業の6次産業化、食の高付加価値化、輸出拡大、機能性食品の開発等の推進。</li><li>・アジアを中心とした国際観光の推進。</li></ul>
東北 (青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、新潟県)	<ul style="list-style-type: none"><li>・東北の復興と地域経済再興を一体として推進。</li><li>・農林水産物、文化、産業遺産等の地域資源を活用した交流人口の拡大、地域製品の域外・海外への展開。</li><li>・戦略産業は、自動車産業、医療機器産業を特定。</li></ul>
関東 (茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、山梨県、長野県、静岡県)	<ul style="list-style-type: none"><li>・関東全体での連携強化が重要。県境を越えた産業集積(クラスター)ネットワーク形成が重要であり、これを支える人材育成や公設試験研究機関の機能を強化。</li><li>・戦略産業(成長産業)は、ヘルスケア産業、先端ものづくり産業、環境エネルギー産業、クリエイティブ産業を特定。</li><li>・地域資源の活用・融合・ブランド化については、高品質で魅力のある製品・サービス開発を支援。</li><li>・首都直下型地震に備えた首都圏バックアップ用のエネルギー基盤を強化。</li></ul>
東海 (長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県)	<ul style="list-style-type: none"><li>・戦略産業は、自動車産業、航空機産業、ヘルスケア産業、環境産業を特定。</li><li>・これを支える「ものづくりマザー機能」を強化し、新たな成長産業の継続的発展を支える。</li><li>・農林水産、陶磁器、観光(伊勢神宮、世界遺産)等の地域資源をつなげることによって相乗効果を発揮。</li><li>・事業環境整備、国際化戦略を推進。</li></ul>
北陸 (富山県、石川県、福井県)	<ul style="list-style-type: none"><li>・繊維産業の集積を活かし、炭素繊維の複合材料の一大生産・加工拠点を目指す。(熱可塑性の炭素繊維の開発に成功)</li><li>・革新複合材料研究開発センターを整備し、炭素繊維の加工技術発展のため、大学・自治体・企業等20者が参画。</li><li>・東海の航空機産業に部素材を供給し広域ネットワークを深化。将来は東海・北陸コンポジットエリアとして広域連携で大きく成長。</li></ul>
近畿 (福井県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、徳島県)	<ul style="list-style-type: none"><li>・国際科学技術イノベーション拠点発の革新的新技術の活用促進。</li><li>・ライフサイエンス、エレクトロニクス、エネルギー、アグリビジネスにおける研究開発・事業化の促進。(成長産業の育成・強化)</li><li>・グローバルサプライチェーン強化や、医療、環境エネルギー、水ビジネス等のインフラの海外展開。(ビジネスのグローバル展開)</li><li>・和食文化や中高年の生涯スポーツオリンピックであるワールドマスターズゲームズ等を活用した観光振興。(観光・文化資源)</li><li>・公設試験場の連携、農業の6次産業化、若者・女性・シニアなど人材活用。(産業振興と雇用の拡大) その他基盤強化。</li></ul>
中国 (鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県)	<ul style="list-style-type: none"><li>・先端ものづくり産業の振興(医療関連産業、先進環境対応車、航空機、軽量Ruby、感性イノベーション、電機電子産業、素材産業等)。</li><li>・農商工連携等による新商品開発や地域ブランド化による販路拡大等を活かした農林水産資源の高付加価値化・産業化。</li><li>・中国5県が連携した広域観光の推進と歴史、文化、自然、スポーツを活かした観光・ツーリズム振興。</li><li>・地域ものづくり産業の競争力強化と伝統産業・基幹産業の振興。</li></ul>
四国 (徳島県、香川県、愛媛県、高知県)	<ul style="list-style-type: none"><li>・3つの戦略の基本的な考え方「地域資源や技術を活かして競争力を強化する」「国内外の新たな市場を切り拓く」「産業の成長を支える人材を育成・強化する」のもと、四国が連携して取り組む本戦略独自の「連携プロジェクト」などを推進。</li><li>・「連携プロジェクト」は、高機能素材関連産業や健幸支援産業の創出、四国ならではの観光資源づくり(四国遍路、サイクリング)、大都市圏・海外への売り込み、人材育成等、11のプロジェクトを盛り込む。</li></ul>
九州・沖縄 (山口県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県)	<ul style="list-style-type: none"><li>・戦略産業は、クリーン産業(水素エネルギー研究、地熱利用)、農林水産業・食品産業(九州ブランドでの海外市場獲得)、観光産業(自然や産業遺産等の活用、インフラ整備、)、医療・ヘルス・コスメティック産業(産学官連携、機能性・健康食品産業の活性化)を特定。</li><li>・沖縄はアジアゲートウェイとして国際物流ハブに。健康・バイオ・IT産業も重点的に育成。</li></ul>